

2023（令和5）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492000235	事業の開始年月日	令和2年8月1日
		指定年月日	令和2年8月1日
法人名	株式会社 エクセレントケアシステム		
事業所名	えくせれんと湘南平塚		
所在地	(259-1216) 神奈川県平塚市入野294番地の7		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和5年12月1日	評価結果 市町村受理日	令和6年3月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・コロナ下での外出や外部と繋がりや減少があったため、できるだけ外出機会や外部ボランティア等の受け入れを再開し、地域密着型の施設としての取り組みを増やしていきたい。

・この半年間程、施設一階の中庭スペースを利用した「デイキャンプ（BBQ等）」の催し物を実施している。

・職員のご家族が通われる中学校の吹奏楽部による演奏会を実施。

・職員のご近所の方による三味線の演奏会や、日本舞踊の披露を計画中。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和6年1月12日	評価機関 評価決定日	令和6年3月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR「平塚」駅北口より神奈川中央バスに乗り、バス停「長持」より徒歩5分の所にあります。看護小規模多機能型居宅介護を併設しています。

<優れている点>

利用者にとっての大きな楽しみである食事に力を入れています。ユニットごとに、職員が時に利用者と一緒に調理をし、作りたてを提供しています。特に月に1回の行事食は、フルコースの充実したメニューになっています。また、家族との交流を大切に、直接会えない家族とはコロナ禍以前からWebによる面談を実施するなど、交流を促進しています。家族との電話や面会時に施設に対する要望や意見を積極的に聞き、サービスの改善に努めています。職員には、本人の主体性を後押しするやり方で研修参加を促進し支援の向上を図っています。法人による必須のWeb研修受講のほか、事業所全体で法定研修を中心に毎月実施し、充実した学びの機会としています。

<工夫点>

職員で共有すべき情報を、アプリを使い共有しています。スマートフォンにも導入できることから、職員への情報が的確に伝わり業務の効率化にも繋がっています。排泄の自立に向けて、ベッドに見守り支援機器を導入しています。利用者の睡眠や覚醒の状況をITで把握できることで夜間巡回の負担を軽減し、利用者の排泄状況の把握がし易くなることで、排泄自立の向上に繋がられるよう取り組んでいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	えくせれんと湘南平塚
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼時の介護理念の唱和 玄関や各フロアへの理念の掲示 	<p>全社共通の理念に加えて事業所独自の理念を策定しています。理念は職員が毎日朝礼時に唱和し、各自が業務を振り返るきっかけになっています。また、施設長は、基礎研修の中でも理念を確認し、全体会議で理念に基づく取組の内容を具体例を挙げて説明しています。</p>	<p>施設長は、理念が各職員にとって真に自分のものとしてできるより更なる浸透を図ることでサービスの向上につなげたいと考えており、今後の取り組みに期待します。</p>
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板を通し地域の状況は伺えるが、日常的な交流までは至らない 	<p>コロナ禍で、利用者の外出制限や運営推進会議も対面でできない等がありました。12月からは対面の会議開催が可能となり、入居者の外出も初詣をはじめ緩和してきています。近隣の子もたちとのあいさつによる交流や中学生ボランティアの受け入れ等交流が回復しつつあります。</p>	<p>コロナ感染症5類に移行したことで、利用者の外出を積極的に行い、地域の人たちとの交流が活発に行われることを期待します。</p>
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事（花見、こいのぼり見学、七夕見学、花菜ガーデンへの外出）等に参加している 	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ5類移行後も、施設でのコロナ陽性者の発生等で、書面開催になっている 	<p>運営推進会議メンバーは、施設をよく知る内科主治医、民生委員、利用者本人、家族代表等です。12月から対面の会議が開催でき、地域交流や事業所での取り組みについて等活発な意見を交わしています。職員には、朝礼時や共通アプリの掲示板、全体会議などで内容を伝えていきます。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、行政からサービス相談員が来られ、ご利用者との対話等を通じて、施設に助言等を行って下さる 	<p>平塚市介護サービス相談員が毎月来訪し利用者の相談に応じ、様々な助言を受けています。管理者交代による着任挨拶を機に、市の担当者と補助金申請手続きなど個別の相談をするなど密な連携を図っています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア会議や全体会議、年2回の内部研修の実施。委員会活動の実施 ・職員同士の意見交換等により身体拘束回避に努めている 	法定研修で身体拘束しない好事例を学び職員に周知しています。事業所では毎月身体拘束委員会で話し合った内容を、全体会議で内容を伝達し、その他フロア会議や内部研修でも職員間で身体拘束をしないケアについて意見交換をしています。入居者の意向優先のケアをすることで、これまで拘束事例はありません。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議等で事例をもとに勉強会や研修を実施 	全体会議で実施する研修で虐待防止について周知しています。県から来た虐待防止チェックリストの他、年に2回法人で実施するチェックリストでの振り返りも全員で行っており、結果は全体会議で伝えています。管理者は日々のケアにおいても虐待がないか留意しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議等での勉強会を実施。現在制度自体を活用する機会はない 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約にあたりご家族と施設側との話し合いのもと、ご家族の同意の上で契約となる 		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱を設置 ・面会の際、ご家族にご意見やご要望等について確認している 	玄関に意見箱を設置しています。また家族の面会時の声かけやケアプラン更新に際しての電話などで職員が施設運営等について積極的に意見や要望を聞いています。出された意見については、職員会議やフロア会議で共有し対応を図っています。利用者の希望等は周囲の話から推測しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・定期的な面談以外、日常の会話等の機会を設けることで、職員から意見や提案をしやすい環境作りに努めている	法人のシステムとして、職員の入職時や介護歴に応じた面談を実施しています。日常業務の中でも管理者は頻繁にフロアに出向き掃除をするなど職員が話し易い環境を作っています。サービス向上に繋がる提案は積極的に取り上げボランティアの受け入れも実現しました。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・定期的な評価（自己評価を含む）の実施 ・具体的な評価項目の策定 ・就業規則の整備と、閲覧に関する施設からの勧めを実施	管理者が積極的に事務室の掃除をし整備し、執務環境だけでなく職員間も話し易い環境になっています。定期面談や個々の振り返り等が一部給与に反映しています。常勤職員の割合が高く時間外労働は殆どありません。有給休暇も業務に支障ない範囲で取得可能です。	管理者は、職員が自発的に就業規則を読み、就業環境に関して自分でもできることに取り組んでほしいと考えています。業務に余裕を生みやりがいを持つための職員育成について、今後期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・OJT計画の策定 ・社内の内部研修についての情報共有	各事業所でOJT計画の見直しをしています。また事業所で法定研修を中心に全体で毎月実施しています。全職員が年間に3つの目標を掲げ、法人の3つの研修への参加を希望することになっています。併せて管理者が研修メニューから選択し受講を勧めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・他施設からの療法士等の交流実施 ・外部研修への参加機会を設けることで、他の施設等との交流を行っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・見学时等、挨拶や笑顔での出迎えにより、ご本人の不安を少しでも減らせるように対応を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	・契約時以外にも、施設側からご家族へ何か不安があるかを確認し、聞き取りを行っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・ご本人やご家族への聞き取りにより、自施設での対応以外にも、最適と思われるサービスについての案内を実施		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	・日常生活でのお手伝いとして、洗いや洗濯物たたみ、掃除等の際には声掛けにより、職員とご利用者が一緒に行える機会を設けている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・コロナの5類移行後は、面会や外出の制限がなくなっている為、無理のない程度でのご家族へ施設来所の依頼を行い、ご本人との繋がりを途切れないように努めている		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・面会や外出の制限が無くなった為、ご家族を通して、ご友人等にもその旨が伝わるように依頼している	コロナ禍以前から、事業所ではWEBによる面会を実施し、現在も継続して行っています。コロナ感染症が5類に移行したため、家族との面会や外出をはじめ電話による交流を積極的に進めています。利用者の友人制作の小物を玄関に置くなど関係を大切にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・レクリエーションや日常のお手伝いの依頼の際には、お一人でなく他のご利用者の方々にも声掛けを行うように努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・様々な理由での終了後も、ご本人やご家族の要望に応じれるように努めている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・定期的なアセスメントやモニタリングにより、意向の把握に努めている	利用者との日常的な会話や介助の中で思いを聞くほか、家族からも利用者の生活歴などを聞いています。思いを言葉にできにくい利用者には普段の様子や把握した生活歴などから本人本位に検討しています。入居時にはケアマネジャーからも話を聞きケアプランに活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・初回のアセスメント以外にも、入居後の職員との会話等で、生活歴の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・日々の健康状態の測定等により、現状の把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	・普段のフロア会議以外にも、ご家族の来所時や電話での内容を共有し、その上での計画作成を心掛けている	ケアプランは基本的には3ヶ月に1回モニタリングしています。フロア会議でカンファレンスを行い、短期は6ヶ月、長期は1年のケアプランを作成しています。利用者の状態に変化があった場合には家族に適宜現状を説明し、家族の意見も取り入れています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・毎月のフロア会議での内容を情報共有することで、プランの見直しに繋がっている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	・介護サービス内のできる事、ご本人が希望するがサービス内では難しい事を把握し、ご家族との連携の下で、希望を実現できるようなサービスの調整		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	・近隣の自治会や学校等からの催し物への参加により、退屈させない日々の実現を目指している		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・ご本人及びご家族同意の下でのかかりつけ医による月に2回の往診を実施。必要時のご家族への丁寧な説明も行って下さっている	訪問診療は月に2度の受診です。事業所のかかりつけ医は夜間もオンコール体制が整っており医療連携ができることから、入居の際にかかりつけ医に切り替えるよう促し同意を得ています。歯科訪問診療は利用者ごとに適宜受診しています。内科以外の受診は原則家族に対応をお願いしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	・毎日の申し送り等により、介護職員と看護職員との連携が取られている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入退院時には、病院の医師や看護師、連携室との情報国間を行うことで、早期退院に努めている ・定期的な訪問による病院との連携を実施		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	・契約時に重度化した際の指針等について同意を得る。また看取りの状態になった時には、再度ご家族と今後についてを話し合う ・看取り期には介護、看護共に情報共有をし支援をしている	看取りもしており、希望があれば家族が居室で最期の時を一緒に過ごせるように支援しています。医師や看護師、家族と話し合い、看取りも含むケアプランを作成しています。看取りに関する研修は看護師が中心となって企画し学びを深めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・急変時のマニュアルの策定、周知 ・社内の内部研修等への参加 ・施設看護師による応急処置対応等の検証		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	・定期的な消防、避難訓練の実施 ・業務継続に向けた計画の策定と職員への周知 ・3日間の備蓄品の常備	近くに川があることから、年2回の避難訓練のうち1回は夜間の浸水を想定して行っています。食料や飲料水の備蓄は3日分はありリストで管理しています。各フロアには緊急時連絡先やマニュアルを配置しています。BCP（業務継続計）は法人が作成し、各事業所毎の対応ができるように追記しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 社内接遇研修への職員参加 年間研修でのプライバシー保護、人権擁護研修の実施 	利用者の生活歴や性格を把握し、人生の先輩として接しています。職員の声かけが好ましくない場合は管理者が注意しています。職員はとっさに出る「ちょっと待って」という言葉もスピーチロックであることを研修などから理解し、適切な言葉かけをするよう努めています。	管理者は、全職員が確実に利用者の人格を尊重した支援が行えるようにすることを目指しています。今後も継続した取り組みが期待されます。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者への毎日の声掛け以外にも、意思疎通が困難なご利用者への思いの汲み取りに努めている 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者への声掛けにより、希望の確認を実施している 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の起床ケアの実施 		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> 調理の際、ご利用者の方に手伝って頂けるものに関しては、職員と共に盛り付けや配膳を行っている 	月1回の行事食は、特別感や季節感を取り入れフルコースを提供しています。誕生日会のケーキを炊飯器を使った手作り焼き、利用者が生クリームでデコレーションするなどの食レクリエーションも行っています。利用者は盛り付けや皿洗い、調理などできることを一緒にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	・毎朝の状態観察を行い、食事摂取量や水分摂取量の把握や、職員間での情報共有を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	・毎食後の口腔ケアの実施 ・訪問歯科による定期的な口腔ケアの実施 ・訪問歯科医及び歯科衛生士による助言等を受けている		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	・定期的な排泄介助により、個々の排泄パターンの把握に努めている ・個々のご利用者に応じた介助方法の実施	排泄した時間の記録や水分チェックの記録をタブレットに入力し全職員が共有できるようにしています。職員は声かけによりトイレでの排泄を促しています。夜間は自立で排泄できる利用者には誘導し、自立が難しい利用者には定期的な介助を行っています。	見守り支援機器も活用し、個別の排泄パターンを熟知してトイレでの排泄向上を目指したいと取り組んでおり、今後期待されます。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	・毎日の水分摂取量の把握 ・体操等のレクリエーションへの参加促し ・処方薬の影響等に関しては、主治医への報告にて情報共有を行っている		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	・毎月26日には「風呂（26）の日」として、入浴剤を使用した楽しめるような機会を設けている	入浴は週2回行っています。袖湯や入浴剤を入れるなど寛げるようにしています。入浴を嫌がる利用者には時間をおいてみたり、別の職員が声をかけたりするなど無理強いはせずに対応を工夫しています。同性介助の希望がある場合には要望に応じています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	・夜間の不眠傾向がある方には、日中の傾眠傾向や、服薬の状態等を確認。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	・職員は定期の往診後、処方薬の薬剤情報を確認し、内容の把握に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	・アセスメントやご家族からの情報により、ご本人が興味を持っていたものや趣味についての把握に努めている		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・コロナの5類移行後は、面会や外出の制限がなくなっている為、ご家族と共に外出に行かれるご利用者もおられる ・自身での外出が困難な方は、職員が車いす等にて支援している	併設の看護小規模多機能型居宅介護事業所利用者と一緒に外出することが多く、社用車で近隣の花菜ガーデンや平塚市総合公園へ出かけています。事業所の周りを散歩したり、近隣神社に初詣に行くこともあります。利用者の中には家族の協力で外出や外食をしたり、自宅へ帰る人もいます。	利用者の中には家族の協力が難しく外出の頻度が少ない人もいますので、今後感染症の状況に十分注意しながら外出の機会を増やしていくことが期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・施設の規定上、トラブル予防の為、現金の持ち込みはご遠慮いただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・ご本人からの要望がある際には、ご本人持ちの携帯電話を使った電話の支援や、施設の電話を用いての連絡等を行えるようにしている		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・毎日の清掃や換気等により、共用空間の環境を整えている	コロナ対策のため換気を定期的に行っています。居間のエアコンの設定温度は決まっていますが、換気する際には適宜調整しています。加湿機能付きの空気清浄機もあり環境を整えています。毎月季節の飾りを利用者と職員が一緒に制作し掲示しています。利用者の好きなテレビ番組やBGMを流すこともあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・ソファに座ったり、横になったりと、好きなようなくつろぎ方をすることができている		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族の写真やぬいぐるみ、使い慣れた家具等を持参される方もおられる	ベッドやカーテン、エアコンなど備え付けの家具以外は馴染みの家具やテレビ、仏壇などを持ち込み居心地よく過ごせる居室になっています。壁には制作物や家族写真などを飾っている利用者もいます。居室内の掃除を利用者も一緒に行う人もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・洗濯物をたたんだり、新聞紙を折りたたむ作業や、洗い物の手伝い等、その方の「できること」を行う機会がある		

事業所名	えくせれんと湘南平塚
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・毎日、朝礼時に会社の理念を共有の為、唱和している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・地域の中学校等のボランティアの受け入れや、回覧を通し自治会行事の把握をしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・相談や見学を随時受け付けている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・毎月、全体会議の中で報告、話し合いを行っている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	・相談員の受け入れや安心センターの受け入れをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	・社内研修で身体拘束についての学習、話し合いを設け、理解を深め、身体拘束をしないケアを実践している		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	・社内研修で虐待防止対策を学び、ケアの質が落ちないように、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	・年一回研修をしている ・研修が充実しているので、職員全員で理解を深めたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・利用者様から意見等が伝えやすいように声掛け等を行っている		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・毎月の全体会議や研修で、職員の意見、要望を聞いている ・利用者や家族からの意見や要望は、毎月の職員会議やフロア会議等でも話し合い、できる限りの対応を実施		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・職員、フロア会議で話し合う他に、現場に入り直接意見を聞く		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・意見等を直接聞き、報告をして改善に努めている		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・基礎研修や他の研修も行っていて、実践に役立てています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・情報交換を行ない、サービス向上のための取組みをしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・その方の生活歴や家族との繋がりを通じて、その方のニーズを把握し、できる限り、要望に沿った介護サービスを実施し、関係性を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	・家族からの要望を聞き、関係づくりに努めている ・家族が面会にいらした時は、近況等を伝えるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・管理者、ケアマネ、主任がその方の状況を見極め、サービス内容を決定し、家族に確認しサービスを開始		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	・誕生会やイベント食と一緒に楽しみ、レク等を一緒に楽しく過ごしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・家族に本人の様子を伝え、支援をしている		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	WEB面談や面会等で、これまでの関係性が継続できるように対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・入居者様が孤立しないように、気の合う人の隣に席を替えたり、一緒に居られたりする配慮をしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・ご家族様からの相談もこれまでと同じように受けたり、イベントにお誘いする。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・できるだけ要望に沿った介護サービスができるよう努めていきます		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入居前の見学時等、今までの生活歴を聞いて情報集めをしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・日々の介護記録を残し、カンファレンスを行い情報を共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	・ご本人やご家族様から要望等を聞き、ケアプランに入れている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・日常の記録を基に介護計画の見直しをしている ・毎日記録を見ながら、申し送りや情報共有することで、チームケアに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	・状況の変化に応じてご家族様に相談したり、話し合ったりすることで、サービスの見直しをする		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	・地域への買い物や散歩を楽しみながら、初対面の方との会話も楽しんでいる		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・月二回の往診があり、病状により医師が対応している。内科以外の受診は、ご家族様の支援等により受診に行かれる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	・グループホームにも看護職員が居り、健康チェックや職員からの医療的な相談や質問に対応		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時にはご家族様や病院の相談員と連携しながら、状況の把握に努めている		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	・契約時に重度化や看取りについての説明をし、支援体制にご理解を頂いている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・緊急時マニュアルが各フロアにあり、分からない点については研修や看護師による相談が行われている		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	・年2回の避難訓練を、6月と12月に実施		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・声掛けに関してや、言葉遣い等、指導を行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・声掛けや傾聴により、本人の思いや希望を知る機会を作っている ・入居者様の日々の会話の中でヒントを見つけ対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・業務優先ではなく、入居者様優先での対応をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・ご自身でできるよう声掛け、見守りをし、支援が必要な方には必要に応じた支援を実施 ・定期的な訪問理美容の利用 ・朝起きた時、身だしなみを整えている		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	・盛り付け等、一緒に作る工夫をし、おやつレク等を楽しんでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	・ケアカルテで水分量・食事量等を把握し、その方に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	・毎食後、口腔ケア実施 ・義歯の方は夜間に義歯を回収し、洗浄や消毒を行っている		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	・状況に応じてトイレの誘導や介助をしている ・声掛けによる促し		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	・排泄表を確認しながら、看護師に相談して、主治医に報告している		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	・その方に合った入浴方法での対応をしている ・リラックスできるような入浴環境の整備		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	・個々のペースに合わせ、居室で休息して頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	・ミスがないように職員同士でダブルチェック ・薬の変更等がある場合には、薬の内容等が分かるようにファイルし、申し送りノートにも記載		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	・体操や歌等、その方に合った方法で支援し、楽しんで頂けるよう工夫している		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・散歩をしたり、ご家族と外食に行かれたりと、戸外に行ける支援をしている ・本人の体調を確認しながら、定期的に短時間の散歩等をしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・現状では、金銭を所持している方はおられない		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・ご家族様からのお電話で話したり、手紙を書いたりする方も居る		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・入居様がくつろげる様、ソファを置いたり季節感が分かるような飾りをしたりして対応している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・レクの席や食事の席等、ご利用者の思いを確認し、居場所を工夫している		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・家族の写真等を置くことで、小田y化に過ごせるように配慮している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・その人らしく、「できる」事はして頂き、できない事はサポートすることで、自立できるように工夫している		

2023年度

事業所名 えくせれんと湘南平塚

作成日： 2024年 3月 22日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・新型コロナウイルスの感染予防対策のため、地域との関わりが非常に低下していた。地域密着型のサービスのあり方として、外部との関わりを増やす必要が有る	・地域の催し物へ参加することができる ・月に一度の外部ボランティアの導入	・回覧板や民生委員からの情報収集 ・社会福祉協議会を通じた、地域ボランティアへの連絡調整 ・地域の学校との連携（演奏会の依頼）	1ヶ月
2	1	・法人理念やVisionは社内掲示板やホームページに掲載されているが、一般の職員が意識して理解に努めているかが課題となっている	・法人理念やVisionを一般の職員が理解し、そのもとに介護等を行う事ができる	・朝礼での理念の唱和 ・毎月の全体会議での理念、visionについての説明等	1ヶ月
3	7	・虐待防止（特にスピーチロック）に関する職員の認識が、法人の求めるレベルにまだ達していないところもある	・日々の接遇を見直すことで、ご利用者や職員同士の言葉遣いから改善する。	・年に2度の内部研修の実施 ・毎月の虐待防止委員会の開催 ・毎月の全体会議での周知 ・定期的な虐待防止チェックの実施	1～6ヶ月
4	23	・ご利用者一人ひとりの、日常の暮らしに対する意向が、完全に把握できているとは言い難い	・インテークやアセスメント以外にも、入所後の職員との会話や、ご家族等からのお話により、思いや意向の把握に努める	・入所前の事前の情報収集と職員間共有 ・ご家族から、ご利用者の「以前の様子」の聞き取り ・職員による日常の会話の実施	1～6ヶ月
5	20	・新型コロナウイルスの感染予防対策のため、面会や外出に制限を設けており、馴染みの人や場との繋がりが少なくなっていた	・ご家族や友人の方との面会や外出機会の増加	・5類移行後の面会、外出、外泊、外食等の制限の緩和 ・上記の対応変更についての、ご家族への連絡、周知	1ヶ月